

課題

- ・アウトプット活動が不十分なことと、間違いを恐れることにより、即興的な自己表現力が伸び悩んでいる。
- ・教科担当者間の言語活動の違いや、中高連携の不足により、系統的で効果的な授業方法が確立していない。

具体的な取組と工夫

■授業の帯活動で、身近なことや日常的事象に関する表現をペアで活動

・One-minute conversation を授業の最初に行い、間違いを恐れずに即興的に自分の考えを伝える言語活動をくり返し行った。トピックは、授業の既習内容だけでなく、学校行事や時事問題などにして生徒が話しやすくなるよう工夫している。

■様々な問いに対して、Speaking-first, Writing-second の流れを定着させる

・特に1年生のうちは、間違いを気にせず表現することを重視し、学年が上がるにつれて精度を上げていくことを、校内の英語科教員の共通意識としている。また、視察した文教大学附属高等学校で導入していたPadlet というアプリを導入して、生徒が書いた内容をiPadでお互いに見えるような取り組みを行った。

■実用英語技能検定にも対応できる実践的な指導を強化

・1, 2年生に英語検定の受験を勧めており、実践的なスピーキングやライティングの指導を行い、パフォーマンステストを行なっている。

■公開授業・外部指導者による講演会・研修会を開催し、小学校・中学校・高等学校の先生方と情報交換

・10月に文教大学阿野幸一教授をお招きし、公開授業の指導助言をいただいた。また、“学習指導要領と小中高の連携～発信力を高める英語教育”という演題でご講演いただき、小中高の教員を交えたワークショップを行った。

成果

■授業アンケートの集計結果より

- ・英語の授業は楽しいと感じている生徒の割合が増えた。
- ・できるだけ日本語を使用せずに授業に参加する生徒の割合が増えた。

■ベネッセ(進研模試)データより

- ・1年生の平均点偏差値が学年で2.0ポイント上昇した。

■海外留学やグローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)参加者が増えた。

進研模試 英語 平均点偏差値	1年7月 記述	1年11月 記述
2020年度	50.7	52.4
2021年度	50.5	51.0
2022年度	50.2	52.2

課題及び改善案

■生徒の自立学習の促進

Google classroomやアプリ使用なども含めた自主的な学びの促進

■生徒同士のやりとりやListening能力の強化

発信力を高める(Group talk, discussion, debate等につなげる)指導法の工夫

■中高連携の強化

互いに授業を見学, Can-do-listの共有

1. 英語の授業は楽しい

	回答数			割合		
	5月	10月	2月	5月	10月	2月
強くそう思う	16	13	15	20%	17%	22%
そう思う	45	47	39	57%	63%	58%
どちらでもない	15	13	11	19%	17%	16%
そう思わない	2	2	3	3%	3%	4%
全くそう思わない	1	0	0	1%	0%	0%

2. 先生が話す英語を聞き取ることは楽しい

	回答数			割合		
	5月	10月	2月	5月	10月	2月
強くそう思う	9	8	16	11%	11%	24%
そう思う	37	37	36	47%	49%	53%
どちらでもない	25	23	13	32%	31%	19%
そう思わない	6	6	3	8%	8%	4%
全くそう思わない	2	1	0	2%	1%	0%

3. 自分ではできるだけ日本語を使用せず授業に参加している

	回答数			割合		
	5月	10月	2月	5月	10月	2月
強くそう思う	3	2	2	4%	3%	3%
そう思う	20	13	13	25%	17%	19%
どちらでもない	20	28	32	25%	37%	47%
そう思わない	30	31	18	38%	41%	27%
全くそう思わない	6	1	3	8%	1%	4%

4. 英語で自分の意見や気持ちを伝えることは楽しいと感じる

	回答数			割合		
	5月	10月	2月	5月	10月	2月
強くそう思う	16	7	8	20%	9%	12%
そう思う	32	34	33	40%	46%	48%
どちらでもない	23	25	19	29%	33%	28%
そう思わない	6	9	8	8%	12%	12%
全くそう思わない	2	0	0	3%	0%	0%